

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公開番号】特開2010-136762(P2010-136762A)

【公開日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-025

【出願番号】特願2008-313428(P2008-313428)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月30日(2011.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部から視認し得る位置に演出用の可動装置が設けられた遊技機であって、

前記可動装置は、

駆動部と、

前記駆動部の動作に連動する可動部と、

前記駆動部と前記可動部との間に介在して、前記駆動部の動作に対する前記可動部の動作を変則的にするための変則動作手段と、

を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記変則動作手段が、部材同士が接することによる抵抗を利用して前記駆動部の動作に対する前記可動部の動作を変則的にするものであることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記駆動部が、回動自在に設けられた第1回動部材を有し、該第1回動部材の所定位置に駆動磁力部が設けられ、

前記可動部が、回動自在に設けられた第2回動部材を有し、該第2回動部材の所定位置に可動磁力部が設けられ、

前記駆動磁力部と前記可動磁力部との間に働く磁力により前記第2回動部材が前記第1回動部材の回動に連動して回動する程度に前記第1回動部材と第2回動部材とが近接して配置され、

前記変則動作手段が、前記第2回動部材に少なくとも外周寄りの位置で摺動自在に接する抵抗部材を備えることを特徴とする請求項1または請求項2記載の遊技機。

【請求項4】

前記駆動部が、回動自在に設けられた第1回動部材を有し、該第1回動部材の所定位置に駆動磁力部が設けられ、

前記可動部が、回動自在に設けられた第2回動部材を有し、該第2回動部材の所定位置に可動磁力部が設けられ、

前記駆動磁力部と前記可動磁力部との間に働く磁力により前記第2回動部材が前記第1

回動部材の回動に連動して回動する程度に前記第1回動部材と第2回動部材とが近接して配置され、

前記変則動作手段が、前記第1回動部材の回動に対して前記第2回動部材が遅れて回動する位置で該第2回動部材に摺動自在に接する抵抗部材を備えることを特徴とする請求項1または請求項2記載の遊技機。

【請求項5】

前記駆動部が、回動自在に設けられた第1回動部材を有し、該第1回動部材の所定位置に駆動磁力部が設けられ、

前記可動部が、回動自在に設けられた第2回動部材を有し、該第2回動部材の所定位置に可動磁力部が設けられ、

前記駆動磁力部と前記可動磁力部との間に働く磁力により前記第2回動部材が前記第1回動部材の回動に連動して回動する程度に前記第1回動部材と第2回動部材とが近接して配置され、

前記変則動作手段が、第2回動部材に内周側から摺動自在に接する抵抗部材を備えることを特徴とする請求項1または請求項2記載の遊技機。